

ヴァレリー・トリエルヴェレール

1965年2月16日、メヌ＝エ＝ロワール県アンジェの6人兄弟の家庭に生まれる。ジャーナリストで、「パリ・マッチ」誌の有名記者。3児の母。2012年5月15日にフランス共和国第24代大統領に就任したフランソワ・オランドの事実婚の配偶者。

ジャーナリストとしての経歴

ナンテール大学で歴史・情報コミュニケーションの学士を取得し、1988年にソルボンヌ大学で高等専門研究免状の学位を取得した後、ジェラルド・カレイル率いる「プロフェッション・ポリティック」誌の記者となる。1989年には、ロジェ・テロンの誘いで「パリ・マッチ」誌の記者も務めるようになり、政治問題を担当する。2006年以降は、同誌において文化欄を担当しており、今日は文芸面に自身の「視点」を提供している。

2005年以降、テレビ・チャンネル「ディレクト8」において、「グランド・ウイット」「ポリティークマン・パルラン」「ポルトレ・ドゥ・カンパーニュ」といった一連の政治対談番組の司会を務める。

2012年1月から4月にかけて、同じ「ディレクト8」において、著名な文化人のインタビューを放送する番組「イティネレール」の司会を務める。

現在は、引き続き「パリ・マッチ」誌の記者を務める。2012年9月以降、フランス自由財団「大使」となっている。